



# 青少相だより

No.72

令和8年3月1日発行

発行 成田市青少年相談員連絡協議会

編集 総務部会

事務局 成田市教育委員会生涯学習課

## 成田市青少年相談員杯 青少年交流綱引き

令和8年2月15日(日)、「成田市青少年相談員杯(青少年交流綱引き)」が下総会場(下総みどり学園体育館)と大栄会場(大栄みらい学園体育館)の2会場にて開催されました。市内の小学校及び義務教育学校からあわせて544名(54チーム)が参加し、各会場で熱戦が繰り広げられました。

### 大栄会場



【優勝】玉造ジュピター

### 下総会場



【優勝】公津ビクトリー



【準優勝】成田King



【準優勝】平成アルゴン



【第3位】成田Queen



【第3位】下総アレキサンドライト

大栄会場予選リーグ

成田市青少年相談員杯(青少年交流綱引き)決勝トーナメント【大栄会場】

◆第1ブロック◆

チーム名	学校名	順位
A 大栄レジェンズ	大栄みらい学園	2
B 成田神	成田小	3
C 向台ヤーマン	向台小	1
D 玉造イーグル	玉造小	4

◆第2ブロック◆

チーム名	学校名	順位
A 成田King	成田小	1
B 向台キング	向台小	3
C 公津の杜RAINBOW	公津の杜小	4
D 大栄プレイブ	大栄みらい学園	2

◆第3ブロック◆

チーム名	学校名	順位
A 向台サルビー	向台小	2
B 中台ファイアー	中台小	4
C 玉造サンダー	玉造小	3
D 成田67	成田小	1

◆第4ブロック◆

チーム名	学校名	順位
A 中台マウンテン	中台小	2
B 玉造ジュピター	玉造小	1
C 成田Power sky	成田小	5
D 公津の杜FOREST	公津の杜小	2
E 大栄チェイス	大栄みらい学園	2

※2位3チームによる抽選により中台マウンテンが決勝トーナメント進出

◆第5ブロック◆

チーム名	学校名	順位
A 神宮寺シャーク	神宮寺小	3
B 新山フェニックス	新山小	2
C 成田JACK	成田小	1
D 三里塚ファイナルズ☆	三里塚小	5
E 公津の杜RAIN	公津の杜小	4

◆第6ブロック◆

チーム名	学校名	順位
A 遠山ファイターズ	遠山小	3
B 三里塚ガールズプラスワン	三里塚小	2
C 新山サンダー	新山小	5
D 神宮寺ゼウス	神宮寺小	4
E 公津の杜WIND	公津の杜小	1

◆第7ブロック◆

チーム名	学校名	順位
A 公津の杜BLAZE	公津の杜小	1
B 三里塚ミー	三里塚小	3
C 成田Queen	成田小	2
D 神宮寺ガイア	神宮寺小	4

※各ブロック上位2チームが決勝トーナメント進出

優勝 玉造ジュピター 準優勝 成田King  
第3位 成田Queen 第4位 公津の杜BLAZE



※1位通過チーム

下総会場予選リーグ

成田市青少年相談員杯(青少年交流綱引き)決勝トーナメント【下総会場】

◆第1ブロック◆

チーム名	学校名	順位
A 加良部スターズ	加良部小	1
B 吾妻クライシス	吾妻小	2
C 平成クリプトン	平成小	3
D 本城S I K (棄権)	本城小	-

◆第2ブロック◆

チーム名	学校名	順位
A 吾妻フォース	吾妻小	1
B 八生ライオンズ	八生小	2
C 加良部ファイターズ	加良部小	3
D 本城ジャガーズ	本城小	4

◆第3ブロック◆

チーム名	学校名	順位
A 本城時宗	本城小	4
B 橋賀台エリザベス	橋賀台小	2
C 加良部オールウェイズ	加良部小	3
D 平成ラドン	平成小	1

◆第4ブロック◆

チーム名	学校名	順位
A 公津ビクトリー	公津小	1
B 久住ベテルギウス	久住小	3
C 平成ネオン	平成小	2
D 下総ブラックストーン	下総みどり学園	4

◆第5ブロック◆

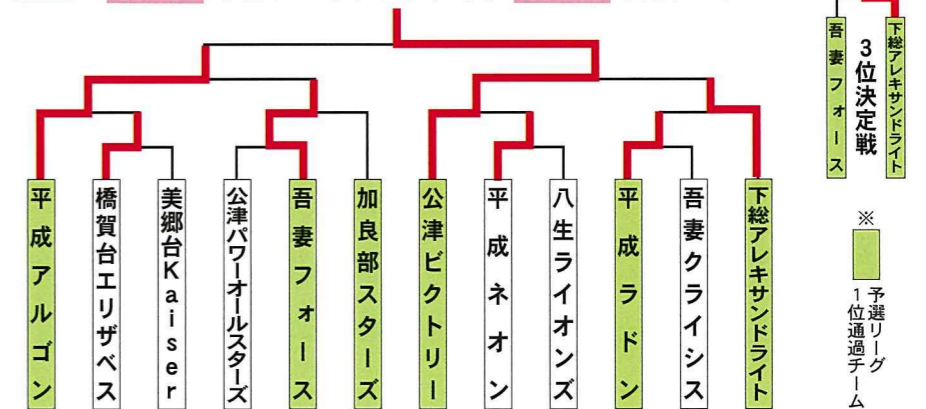
チーム名	学校名	順位
A 下総アレキサンドライト	下総みどり学園	1
B 久住Fires	久住小	4
C 公津パワーオールスターズ	公津小	2
D 美郷台YDK	美郷台小	3

◆第6ブロック◆

チーム名	学校名	順位
A 平成アルゴン	平成小	1
B 美郷台Kaiser	美郷台小	2
C 公津ファイヤーバード	公津小	4
D 下総ガーネット	下総みどり学園	3

※各ブロック上位2チームが決勝トーナメント進出

優勝 公津ビクトリー 準優勝 平成アルゴン  
第3位 下総アレキサンドライト 第4位 吾妻フォース



※1位通過チーム

「初めての試み」

会長 村島 弘和

第2学期初の青少年交流綱引き大会でしたが多くの子どもたちに参加していただき感謝いたします。今回は初めての2会場での同時分散開催でした。相談員も半分が入れ替わり、大会自体を経験したことがない人や、監督経験はあっても運営側になるのが初めての方が約半数いました。しかしながら会議や審判講習、各小学校区での練習、地区大会、小学校同士の合同練習を経て無事開催することができました。相談員の皆様の努力に敬意と感謝をいたします。そして大会当日の選手、監督たちの諦めない気迫と全員で勝とうとする気合に感動しました。さらには各小学校区の地域の方々と子どもたちの繋がりや一体感を試合、大会を通して感じることができました。参加した皆様に大会を開催して良かったと言ってもらえれば幸いです。

最後に毎年、成田ライオンズクラブ、読売新聞東京本社、成田市青少年の輪を育てる会の皆様からの協賛と協力、綱引き大会へのご理解をいただき感謝いたします。そして各小学校の校長先生を初めとする教員の皆様、地域の皆様に練習段階から協力、応援をいただいていることに感謝申し上げます。今後も成田の子どもたちの笑顔のために活動していきます。そして来年度も必ず開催いたしますのでよろしくお願いいたします。

「綱引きを終えて」

玉造ジュピター  
キャプテン 北川 大翔

去年、ほくたちのチームは1回も勝つことができませんでした。負けたとき、とてもくたくたくして、「来年こそぜひに勝ちたい。」と強く思いました。だから、ほくは練習をがんばりました。きつくて、手も足も痛くなりました。大人と2対1で戦ったり、1対1で引っぱり合ったりもしました。相手は大人なので力がとても強く、何回も負けました。「もう無理かも。」と思ったこともありましたが、でも、みんなもがんばっていたので、ほくもあきらめずに練習を続けました。練習試合では、ふしぎとあまりきつく感じませんでした。いつもの練習の方がきつかったからだと思います。そして大会の日。予選は全部勝つことができました。準決勝は、相手も強いチームだったので引き合いになりましたが、ほくたちが勝つことができました。決勝は3本引きでした。1本目に勝ったあと、「次、勝てれば優勝だ。」と頑張りました。優勝が決まった瞬間、みんなで大よろこびしました。泣いている人もいて、ほくもうれしくなりました。2年間続けてきて本当に良かったです。コーチや協力してくれた保護者の方に感謝したいです。

「子どもに学ぶ全力の美しさ」

体育I部長 小倉 和幸

先日の青少年相談員綱引き交流大会は沢山の皆様にご参加をいただき、誠にありがとうございました。例年と違う会場であったため、選手のみならず保護者様のご協力無くしては成り立たなかったものと感謝申し上げます。

各会場いずれもひけを取らない熱い戦いで、子どもたちの心にも皆で協力して一つの事を成し遂げるといふ事の大切さや、目標に皆で丸となるという素晴らしさを学んでいただけたと思います。

目標を達成したチーム、惜しくも目標まで届かなかったチーム。真剣勝負の世界なのでそれぞれに結果はあるかと思いますが、今大会で得た思いを胸にこれからの長い人生を明るく前向きに生きていっていただければ幸いです。

今大会は例年と異なることが多く、青少年相談員も切り替わりの年だった為、運営含め手探りの所も多く、皆様にご迷惑をかけたり、不安にさせてしまった部分も多々あったかと思いますが、皆様のご協力のもと無事大きな事故無く盛大に開催でき、沢山の感動をいただいたことを感謝いたします。本当にありがとうございました。

「仲間と勝ち取った優勝」

公津ビクトリー キャプテン 内山 凌伽

試合当日、ほくはとても楽しみでした。予選リーグを進み、全勝すると、少し緊張してきましたが、気持ちを切り替えて決勝トーナメントに臨むことができました。そこは予選とは全く違う雰囲気でした。平成ネオンも下総アレキサンドライトも、予選よりもとても強く感じました。あつという間に決勝戦。決勝は地区大会でほくたちが勝てなかった平成アルゴン。決勝は3本引きで2本先取です。

決勝は会場の雰囲気や段違いでした。今まで戦った他のチームの思いを背負って決勝戦に臨みました。みんなの応援が、絶対に負けられないという自信につながったと思います。じわじわビクトリーが引いていき、一本目は無事勝ちましたが、二本目は既に両者共に疲れていました。それでもお互い一歩も引かない激しい攻防でした。しかし、ビクトリーや応援してくれた人の思いが一つになり、綱を最後まで引くことができました。「よっしゃー優勝だー！」最後のあいさつをしたときに、その実感が一番湧いたことは今でも覚えています。

自分たちだけでなく、応援してくださった相談員の方、保護者の皆様、他チームの人の思いが一つになって、優勝できたと思います。ありがとうございました。





## 令和7年度 印旛地区少年の日・地域のつどい大会

成田地区会長 伊藤 文哉

令和7年9月28日(日)、四街道総合公園体育館にて、「令和7年度印旛地区少年の日・地域のつどい大会」が開催され、ユニカール交流大会に参加しました。

大会の趣旨は、次代を担う青少年が、レクリエーションや集団活動を通じて協力・協調の精神を学び、健全な身体と精神を養うとともに、青少年相互の友情を深め、青少年の自覚と誇りを高めることです。

ユニカール(Unicurl)別名「陸のカーリング」とは、冬季オリンピック種目のカーリングを陸上で手軽に楽しめるように、1979年スウェーデンのカーリング・アールクビスト氏にて考案され発祥した室内スポーツで「ユニバーサルカーリング(誰もが楽しめるカーリング)」の略称です。専用の滑りやすいカーペット上で、取っ手のついた合成樹脂製のストーンを滑らせ、円形の目標地点(ハウス)に自チームのストーンをより近づけることを競い、相手のストーンを弾いたり味方を助けたりする作戦も重要です。特徴として氷の代わりに「スライドカーペット」、天然石の代わりに「合成樹脂製ストーン」を使用し、体育館など屋内で年中楽しめます。

1チーム3人(計6人)で対戦し、両チームが交互にストーンを投げます。最終的に、自チームのストーンが相手チームのストーンよりもハウスの中心(ボタン)に近いほど得点します。相手のストーンを弾き飛ばしたり、味方のストーンを押し助けてりする「ショット」も可能です。初心者同士が20~30分間の講習後にゲームを始めることができるほど基本ルールおよび基本技術は簡単で、作戦やチームワークが勝敗を左右する奥深さも魅力です。

成田市、佐倉市、白井市、四街道市、八街市、富里市、酒々井町、栄町の市町からさまざまなチームが集まり、成田市からはチーム名「えんびつ」が参加し、栄町、八街市のチームとの熱戦を制してリーグ優勝という素晴らしい結果を残しました。

午前中にアイスブレイクで緊張をほぐし、午後から競技が行われ、最後にご当地マスコットが集結し触れ合いながら記念写真を撮りました。一日を通して子どもたちの笑顔が溢れる素晴らしいつどい大会となりました。参加した子どもたちも交流を深められ楽しかったと帰りのバスで話してくれました。



### 編集 後記

任期初年度を締めくくる本号をお届けいたします。

今年は、オールナイトハイクや綱引き大会をいつもと違う形で実施した挑戦の1年になりました。特に2会場で行われた綱引き大会は、ちょうどミラノ・コルティナオリンピック開催期間中でしたが、オリンピックに負けない熱い熱い戦いが繰り広げられました。このような事業が子どもたちの思い出のひとつになれば幸いです。

引き続きよりよい活動となるよう取り組んで参りますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。  
(総務部副部長 日野加名子)